

# 都市基盤分野

都市  
基盤分野

産業分野

教育分野

## I 2 均衡ある都市構造の形成 都心地区の整備と都心軸の充実

### 現状と課題

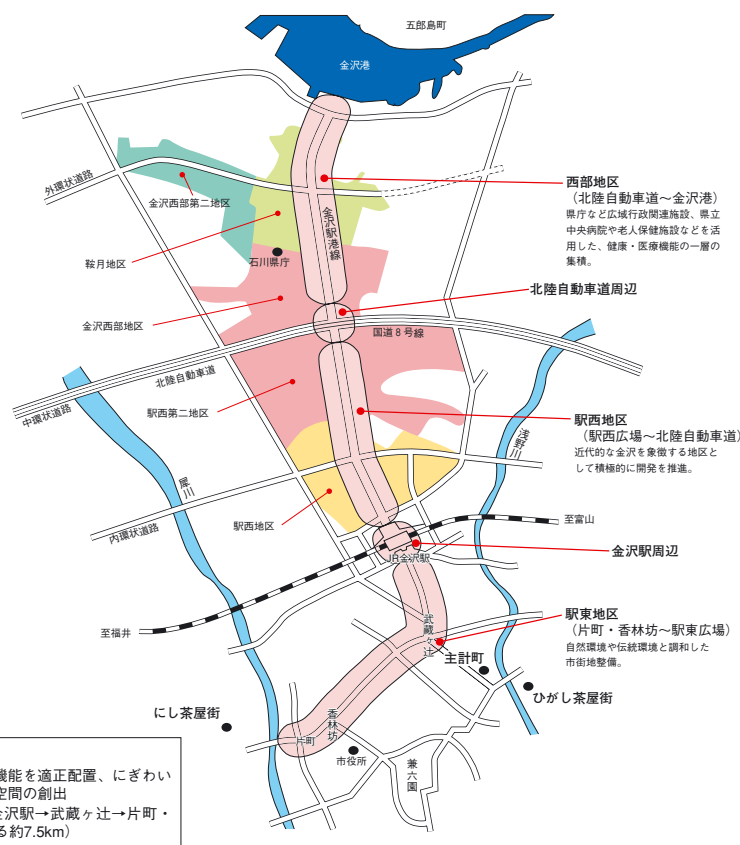
都心軸は、片町・香林坊から武蔵ヶ辻、金沢駅、県庁、金沢港に至る金沢市の動脈であり、金沢の商業や業務、行政等の多様な機能が集積しています。今後、北陸新幹線の整備や金沢駅周辺整備、武蔵ヶ辻での

再開発事業など、都心軸の機能集積も変わっていくことから、それらに併せた新たな都心軸のあり方を模索していく必要があります。



アートアベニュー

■都心軸ゾーン図



**都心軸**  
高次の都市機能を適正配置、にぎわいと格調高い空間の創出  
(金沢港→金沢駅→武蔵ヶ辻→片町・香林坊に至る約7.5km)

### 基本方針

金沢市の動脈にふさわしい都心軸をめざし、金沢駅や武蔵ヶ辻等の拠点の整備効果を活かしていくとともに、賑わいと魅力あ

ふれる都市空間の整備や多様な機能の集積、公共交通システムの検討、歩行者の回遊性の向上等を進めていきます。

### 事業計画 (主な事業とその内容)

#### 〔駅西地区における業務機能の集積促進〕

駅西地区において業務機能の集積効果を高めるため、事業所の誘致・立地促進を図ります。

#### 〔公共交通システムの検討〕

バスや新交通システムなど、都心軸での円滑な移動を確保する上でふさわしい公共交通のあり方を検討します。

#### 〔金沢駅周辺整備構想の推進〕

北陸新幹線の開業を見据え、金沢の玄関口としてふさわしい金沢駅をめざした周辺整備を進めます。

#### 〔金沢城跡地・県庁跡地の活用〕

金沢城跡地は河北門や宮守堀の復元等により、往時の城郭の雰囲気が感じられ、歴史を偲べる公園として整備します。また、県庁跡地は兼六園や金沢城公園等の文化・環境ゾーンにふさわしい利用を検討します。

#### 〔アートアベニュー<sup>※</sup>・賑わい回廊<sup>※</sup>の活性化〕

沿道店舗のショーウィンドウでのアート展示やまちなか彫刻など、歩行者の回遊性の向上をめざしたアートアベニューの整備を進めるとともに、業務機能が集積する賑わい回廊の活性化を図ります。

### 市民参加と協働

- ・経済団体等との連携による事業所の誘致・立地促進
- ・都心軸でのイベント開催時の住民、ボランティア等による支援

**※アートアベニュー**  
金沢21世紀美術館、金沢駅東広場という2つのランドマークを結ぶ都心軸のメインストリートにアートアベニュー（芸術通り）と位置づけ、アートを活かした店舗改装や彫刻設置など魅力的なまちなみの形成を図る取り組み。

**※賑わい回廊**  
都心軸のうち、香林坊と武蔵ヶ辻の二大商業地をつなぐ部分を賑わい回廊と位置づけ、北陸の広域商業業務地にふさわしい魅力と賑わいのあるまちなみを形成しようとする取り組み。

# 都市基盤分野

都市  
基盤分野

II  
産業分野

III  
教育分野

# I

## 2 均衡ある都市構造の形成

# 駅東・武蔵ヶ辻地区の賑わい創出

### 現状と課題

武蔵ヶ辻は、市民の台所として藩政期以来親しまれてきた「近江町市場」が立地するなど、金沢市の中枢機能を担う地区の1つです。しかし近年、来街者の減少による商業活力の低下、木造老朽建物の密集による防災面での懸念、下水道の未整備、武蔵ヶ辻交差点での交通渋滞など、多くの課題を抱えています。一方、金沢駅武蔵北地区は、

都心軸を形成する金沢駅通り線の整備と高度利用・都市機能の更新を目的とした整備が順次進められ、金沢駅通り線も暫定開通しています。今後は、金沢駅と武蔵ヶ辻間の連続性を高め、金沢駅通り線沿いや武蔵ヶ辻の活性化につながるまちづくりが求められています。

■金沢駅武蔵北地区市街地再開発事業



第三工区・第四工区完成予想図



### 基本方針

武蔵ヶ辻地区では、近江町市場を含む第四地区市街地再開発事業を推進し、防災・衛生面の機能更新を図るとともに、活力ある市場の再生をめざします。また、金沢駅武蔵北地区では、賑わいの創出や定住人口の増加をめざし、高齢社会に対応した機能

を備えた市街地再開発事業を推進するとともに、金沢駅通り線の早期完成をめざすことで、金沢駅・武蔵ヶ辻間の連続性を高め、風格と賑わいのある都心軸の整備を図ります。

### 事業計画（主な事業とその内容）

#### 〔武蔵ヶ辻第四地区市街地再開発事業の推進〕

木造老朽建物の不燃化・耐震化や下水道整備を図るとともに、国道拡幅による武蔵ヶ辻交差点の交通渋滞の解消、クロスピアに接続する広場や市場と百貨店を結ぶ横断地下道などの整備により、歩行者の回遊性を高め、近江町市場の活性化を図ります。

#### 〔金沢駅武蔵北地区市街地再開発事業の推進〕

第四工区では、多様な世帯構成に対応したバリアフリー住宅や路面店舗による再開発ビルを整備し、賑わいの創出と定住人口の増加を図ります。また、第三工区では、住宅や店舗のほか、高齢化社会に対応した福祉施設の整備を推進します。

#### 〔武蔵ヶ辻第一地区再整備の推進〕

老朽化した武蔵ヶ辻ビルの機能を更新し、まちなか居住人口の増加と都心軸の賑わい創出に寄与する住宅・商業複合施設の整備など、民間開発による再整備を推進します。

#### 〔金沢駅通り線の全線開通〕

金沢駅から武蔵ヶ辻間の全線4車線開通を図るとともに、歩道には辰日用水によるせせらぎや緑を配し、沿道店舗でのショッピングやそぞろ歩きを楽しめる金沢駅通り線の整備を推進します。

# 都市基盤分野

都市  
基盤分野

産業分野

教育分野

## I 2 均衡ある都市構造の形成 中心市街地の活性化

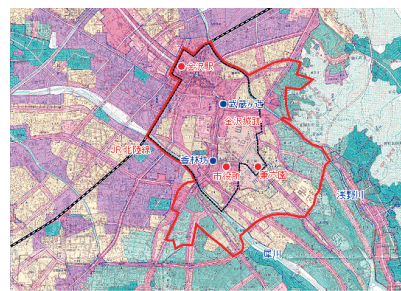
### 現状と課題

モータリゼーションの進行等による郊外への市街地の拡散、商業を取り巻く環境の変化等から、金沢の顔である中心市街地の空洞化が問題となっています。金沢市では、市政の最重要課題として中心市街地の活性化に多面的・重層的に取り組んでいます。今後も少子高齢化の進展等による社会情勢の変化を見据え、中心市街地の活性化をまちなかの定住と交流の促進により戦略的に進めていく必要があります。



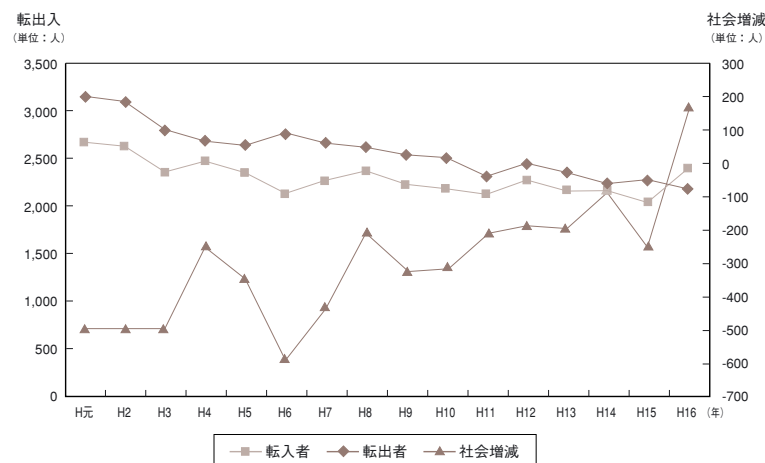
豎町通り

■中心市街地活性化基本計画区域図



■中心市街地 (約860ha)  
 ■重点整備地区 (約420ha)

■重点整備地区※内人口の社会動態の推移



### 基本方針

21世紀型の成熟した地方中枢都市づくりのため、国のまちづくり3法<sup>※</sup>改正における都市機能を中心部に集約していくという動きも見据えながら、金沢の個性（歴史・

伝統・文化）を磨き、郊外とは異なる賑わいや暮らしやすさ、交通利便性等を享受できる都市空間を創出し、まちなかの定住と交流の促進を図ります。

### 事業計画（主な事業とその内容）

#### 〔個性を活かした美しいまちづくり〕

伝統的建造物群保存地区や用水等の歴史・自然の保全と活用、金沢城跡地の整備等を進めます。これらに併せて金沢21世紀美術館やもてなしドーム等の新たな都市基盤による賑わいの創出を図るとともに、金沢の個性を活かした美しいまちづくりを推進します。

の支援、都心ビジネス形成の支援等を通じて、元気な商店街や都心ビジネスの形成を図ります。

#### 〔人・環境にやさしいまちなか交通の確立〕

市民がまちなかを安全・快適に歩けるまちづくりの推進、アイドリングストップなど環境への配慮、オムニバスタウン<sup>※</sup>の推進等を通じて、人・環境にやさしいまちなか交通の確立を図ります。

#### 〔暮らしの良さを実感する定住促進〕

魅力ある住環境づくりに向け、公共施設の活用・充実や生鮮食品店の出店促進等を進めるとともに、まちなか住宅建築奨励金制度やまちなか共同住宅建設費補助制度等の支援策の充実を図り、暮らしの良さが実感できる定住を促進します。

#### 〔まちなか交流活動の促進〕

観光イベントや企画展、観光スポットなどのまちなか情報発信、旧町名復活や市民の自主的なまちづくり活動の支援・促進、金沢21世紀美術館等による交流機会の創出、民間と行政が連携したまちおこし等により、まちなか交流活動を促進します。

#### 〔元気な商店街・都心ビジネスの形成〕

空き店舗への出店促進、近江町市場及び横安江町商店街の再整備事業等の商業活動

### 市民参加と協働

- ・商業活性化に向けた商店街との連携
- ・エコ交通通勤やアイドリングストップなど、環境に配慮した交通への協力

※重点整備地区  
 中心市街地活性化法に基づいて、金沢市において重点的に中心市街地活性化施策を実施する地区（約420ヘクタール）。  
 ※まちづくり3法  
 都市計画法、中心市街地活性化法、大規模小売店舗立地法。  
 ※オムニバスタウン  
 バスを中心とした安全、快適で環境にやさしい交通が実現したまち。

# 都市基盤分野

都市  
基盤分野

産業分野

教育分野

## I 2 均衡ある都市構造の形成 郊外住環境の整備

### 現状と課題

金沢市の既成市街地周辺では、組合施行等による土地区画整理事業に積極的に取り組み、50年間で都市の規模は倍増しました。こうした郊外での区画整理事業は、質、量の両面にわたって高い水準の都市基盤整備を実現する推進力となってきました。その一方で、中心市街地の空洞化への対応、新市街地の整備から中心市街地の再整備への移行、重点化など、郊外開発のあり方は大きな転換期を迎えています。

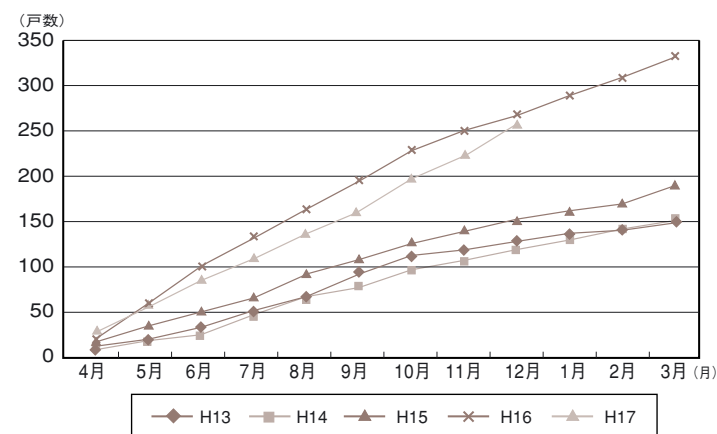


ウッドパーク玉鉾（ガス工場跡地を住宅団地に整備）



瑞樹団地（郊外の優良な住宅地）

■ いい街金沢住まいづくり奨励金対象地区内の専用住宅建築戸数の推移



### 基本方針

現在実施中の土地区画整理事業については、早期完成・完了をめざして引き続き事業を推進するとともに、郊外の良好な住環境の創出を図ります。また、今後はまちなか再整備の一手法として土地区画整理事業の活用を検討していきます。

### 事業計画（主な事業とその内容）

#### 〔土地区画整理事業の推進〕

現在実施中の組合施行土地区画整理事業について、早期完成・完了を図ります。また、外環状道路海側幹線のうち、土地区画整理事業で整備予定となっている部分の整備を促進します。

#### 〔優良住宅地の供給〕

多様な生活スタイルの選択肢の1つとして、郊外での優良な住宅地の供給を推進します。

#### 〔いい街金沢住まいづくり奨励金〕

郊外の地区計画区域等において、子育て期の若年世代の住宅取得に対して奨励金を交付することによって定住を促進します。

#### 〔かなざわ定住推進ネットワーク活動〕

住宅地関係団体と連携して、住みよい金沢をPRする活動を展開し、金沢市における住宅需要の掘り起こしを進めます。

### 市民参加と協働

- ・住宅地関係団体との連携によるかなざわ定住推進ネットワーク活動の展開

# 都市基盤分野

都市  
基盤分野

産業分野

教育分野

## I 2 均衡ある都市構造の形成 公園の整備

### 現状と課題

都市公園は、都市内の緑の確保やレクリエーションの場、健康増進の場であるとともに、都市景観や地域コミュニティの形成、災害時の避難地など、多様な機能を発揮することから、金沢市では積極的に整備を進めてきました。

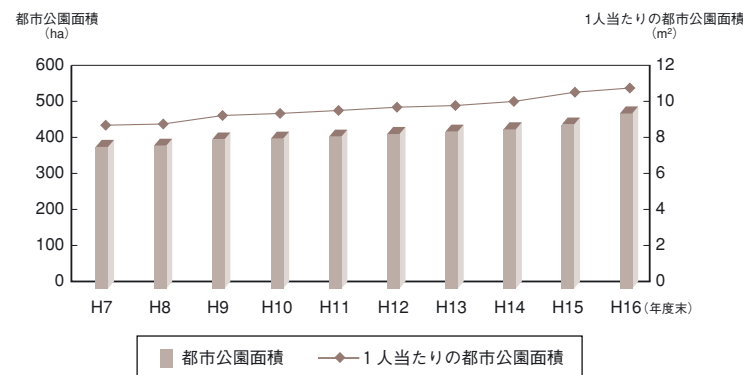
その結果、市民1人当たりの都市公園面積は全国的にも上位水準にありますが、公園の種別や配置状況は必ずしも十分とはいえず、特に既成市街地において公園の整備が求められています。

■大乗寺丘陵総合公園（仮称）整備計画図



野町もも公園（市民提案型公園）

■都市公園面積の推移



### 基本方針

地域に応じた緑の供給や地域コミュニティの形成、防災機能への配慮等の多様な機能が発揮できるよう、計画的な公園の整備・配置を進めます。

### 事業計画（主な事業とその内容）

#### 〔市民提案型公園の整備〕

計画段階から市民がアイデアや意見を出し合い、手づくりの緑の空間を創出することで、公園愛護精神の醸成を図るとともに、地域コミュニティの拠点をつくり、高齢者から子供まで利用しやすい公園として整備します。

#### 〔大乗寺丘陵総合公園（仮称）の整備〕

自然との関わり合いを体験し、四季折々の花木をいつくしむことができる自然回帰型の総合公園として、大乗寺丘陵総合公園（仮称）を整備します。

#### 〔西部緑道の整備促進〕

金沢市の新都心として変貌をとげる駅西地区の様々な施設との連携を支援できる緑の交流軸の形成をめざし、地域住民のレクリエーション・交流の場、地域の防災緑地として、西部緑道の整備を進めます。

#### 〔既設公園のリニューアル〕

公園利用率の向上と社会環境の変化に対応した公園の再整備を図るため、計画的に公園のリニューアルを推進します。全面改修ではユニバーサルデザインを導入し、部分改修ではバリアフリーを考慮した整備を進めます。

### 市民参加と協働

- ・市民提案型公園における計画段階からの市民の様々なアイデアや意見の提案

# 都市基盤分野

都市  
基盤分野

産業分野

教育分野

## I 2 均衡ある都市構造の形成 地域資源を活かしたまちづくり活動の支援

### 現状と課題

これまで、都市計画やまちづくりは行政が主体となって進められてきましたが、近年は地域住民が主体的にまちづくりに関わる機会が増えてきました。金沢市においても、まちづくり協定<sup>※</sup>や地区計画<sup>※</sup>等のように地域住民が積極的にまちづくりに関わ

っています。今後は行政と市民が役割を分担しながら、将来的な人口減少時代を見据えた均衡ある都市構造を形成していくとともに、地域資源を活かしたまちづくり活動を推進することでコミュニティ意識の醸成等を図っていく必要があります。

#### ■旧町名復活



主計町

下石引町

飛梅町

木倉町



柿木島

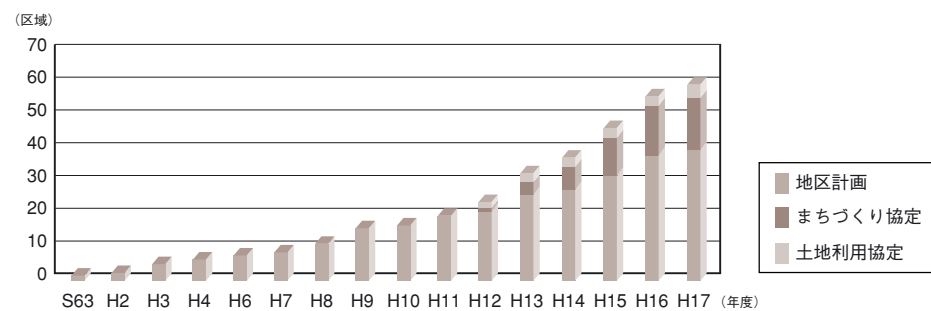
六枚町

並木町

#### ■旧町名復活区域

H11 (1999)年	主計町
H12 (2000)年	下石引町、飛梅町
H15 (2003)年	木倉町、柿木島
H16 (2004)年	六枚町
H17 (2005)年	並木町

#### ■地区計画、まちづくり協定、土地利用協定の締結状況



### 基本方針

金沢市全体の都市構造のあり方については行政が主体的な役割を果たし、都市計画マスタープランの見直し等を進めていきます。一方、それぞれの地域については地域

住民が主体的に進めることで、地域に応じたまちづくりを推進するとともに、行政は地域資源を活かしたまちづくり活動を支援していきます。

### 事業計画 (主な事業とその内容)

#### 〔都市計画マスタープランの見直し〕

都市の将来像や土地利用の基本方向、都市施設の配置方針を示す都市計画マスタープランの見直しを図ります。

#### 〔旧町名の復活〕

地域における住民相互の連帯意識の醸成及び住民によるまちづくりの活性化を図るため、旧町名の復活を推進します。

#### 〔まちづくり協定の締結促進〕

地域住民が自ら住み良いまちづくりを推進するためのまちづくり協定の締結を促進します。

#### 〔中心市街地での土地区画 整理事業の活用検討〕

敷地整序型土地区画整理事業<sup>※</sup>など、中心市街地の再整備における土地区画整理事業手法の適用性について検討を進めます。

#### 〔地区計画の締結促進〕

高度化、多様化するまちづくりの住民ニーズに応え、良好な市街地環境の創造や保全を図るための地区計画の締結を促進します。

**※まちづくり協定**  
住民みずからが、自分たちの住む地域の目標とする将来像を描き、それに基づくまちづくりのルールを自主的に定めるとともに、これを実現するために住民と市長との間で締結する協定。

**※地区計画**  
一定の地区を単位として、その地区の安全で快適な美しい魅力あるまちづくりを推進するための基本的な方向を明らかにするとともに、公共施設の配置や建築物の形態等を総合的に計画し、建築行為や開発行為を適正に規制・誘導するもの。

**※敷地整序型土地区画整理事業**  
一定の基盤整備がなされている既成市街地内の地域で、空地・駐車場等の小規模かつ不整形な低未利用地が散在し、早急に土地の有効利用を図ることが必要な地区において、相互に入り込んだ少数の敷地を対象として、整序を図るもの。

### 市民参加と協働

- ・それぞれの地域に応じた住民主体のまちづくり活動の推進